

【水素・燃料電池分野】バイヤー招へい商談会2026

海外企業（招へい候補企業）プロフィール①

企業名（HP）	IDOM Consulting, Engineering, Architecture, S.A.U. (https://www.idom.com)	
所在国・地域・都市	Spain, Bilbao	
事業概要	スペインに本社を置く同国最大級の独立系総合エンジニアリング企業。発電分野（設計実績70GW超）、石油・ガス、再生可能エネルギーにおいて幅広い実績を有する。特定の技術プロバイダーに依存しない独立した立場から、最適な技術を顧客に提案するスタイルを強みとしている。2008年のサラゴサ万博以降、グリーン水素関連事業を重点領域として展開している。水素分野では、Iberdrola社向け25MW水電解プラント（Castellón）の基本・詳細設計を担当しているほか、Enagás社が推進するEuropean Hydrogen Backbone（水素パイプライン網）の設計・行政手続を担うなど、スペインにおける水素インフラ構築の最前線に位置している。さらに、SAF（持続可能な航空燃料）やe-メタノール等の合成燃料プラントへの展開も本格化させている。	
設立年／年間売上高／従業員数	1957年／ － ／5,000名程度	
海外／日本との取引経験の有無	有り／有り	
希望商材・関心のある分野	■製造 ■輸送 ■貯蔵 □利用	【調達】 ・水電解装置：PEM型、アルカリ型、SOE型 ・高圧コンプレッサー：ガス流量2,000 Nm³/h超、吐出圧力60 bar(a)超 ・貯蔵システム：大容量（気体および液体） ・水素燃料電池：20MW超 ・水素ガスタービン ・水素関連の新興技術
商談言語	英語	

【水素・燃料電池分野】バイヤー招へい商談会2026

海外企業（招へい候補企業）プロフィール②

企業名（HP）	HydroSolid GmbH (https://hydrosolid.com/ja)	
所在国・地域・都市	Austria, Niederösterreich	
事業概要	独自開発の特許技術「RSH2ナノポリマー」を用いた安全かつ高効率な水素貯蔵技術を提供するオーストリア企業で、水素社会の実現に向けた次世代エネルギーインフラ技術の普及を目指している。同社のモジュール型水素貯蔵システム「HIVEシリーズ」は、35barで作動し、最大500kgの水素貯蔵容量を有し、固体水素貯蔵材（HydroSolid® RSH2ナノポリマー）と気体水素の両方に対応している。独立型モジュール式エネルギーシステム「HYPER」は、安全な48V技術を採用し、オフグリッド環境でも安定した電力供給を実現する。プラグアンドプレイ方式により容易に導入できるほか、モジュール設計により数kWから数MWまで柔軟に拡張可能である。電力・熱・水素を統合管理することで、商業施設、産業用途、エネルギーコミュニティ、重要インフラ向けに、分散型・脱炭素型エネルギーソリューションを提供している。同社の技術は、2025年の大阪・関西万博のオーストリア館で展示された。	
設立年／年間売上高／従業員数	2021年／ － ／12名	
海外／日本との取引経験の有無	有り／無し（日本企業との連携協定あり）	
希望商材・関心のある分野	■製造 ■輸送 □貯蔵 ■利用	【調達】 ・水電解装置 ・パワーエレクトロニクス機器 ・水素ハンドリング機器や安全機器 ・制御システム ・水素燃料電池
商談言語	英語、ドイツ語	

【水素・燃料電池分野】バイヤー招へい商談会2026

海外企業（招へい候補企業）プロフィール③

企業名（HP）	Hydra Energy Canada Corporation（ https://www.hydraenergy.com/ ）	
所在国・地域・都市	Canada, British Columbia	
事業概要	カナダに本社を置くクリーンエネルギー企業。既存のディーゼルトラックを水素・ディーゼル混焼エンジンへ改造する技術を提供し、車両性能を維持しながらCO₂排出量の削減を実現している。同社最大の特徴は、車両改造と水素供給を一体的に提供する独自の「Hydrogen-as-a-Service（HaaS）」モデルであり、輸送事業者が持続可能性目標を達成できるよう支援するとともに、水素供給事業者の生産拡大も支援している。商業運行向け水素・ディーゼル混焼トラックを実用化した先駆企業として、大型商用車分野における水素活用の普及を推進している。	
設立年／年間売上高／従業員数	2012年／ － ／15名	
海外／日本との取引経験の有無	有り／無し	
希望商材・関心のある分野	☒ 製造 ☐ 輸送 ☒ 貯蔵 ☒ 利用	【調達】 ・水素製造技術：先進的な電解システム、拡張性の高い水素製造装置 ・水素貯蔵ソリューション：水素ガス向けの信頼が高く、効率的かつ安全な貯蔵インフラ ・圧力機器：高性能な圧力容器、コンプレッサー、バルブ及び関連機器 ※水素供給、統合型水素ソリューションを求めるオフテイカー（エンドユーザー・需要家）との商談にも興味あり
商談言語	英語	

【水素・燃料電池分野】バイヤー招へい商談会2026

海外企業（招へい候補企業）プロフィール④

企業名（HP）	Quantum Technology Corp. (https://quantum-technology.com/)	
所在国・地域・都市	Canada, British Columbia	
事業概要	カナダに本社を置き、顧客ニーズに合わせて、ヘリウムおよび水素の液化装置、精製装置、回収システムの設計・開発・試験を行う。水素分野では、水素精製・液化技術を主力事業としており、ガス精製・液化分野で培った数十年の技術を活用し、最大15トン/日級の水素液化装置を提供するほか、液化前処理として原料水素中の不純物を除去する最大15トン/日級の水素精製装置も展開している。加えて、極低温システム、ガス井向けガス精製設備、航空宇宙分野向けの水素・メタン・酸素供給システムの開発・提供も手掛けており、アンモニア分解後のガスから水素を精製する技術・経験も有している。このほか、潜在的な投資家およびオフテーカーへの北米におけるヘリウム探鉱プロジェクトへの投資機会も有している。	
設立年／年間売上高／従業員数	1981年／CAD 39 million／110名以上	
海外／日本との取引経験の有無	有り／有り	
希望商材・関心のある分野	■製造 ☐輸送 ☐貯蔵 ☐利用	【調達】 ・水素精製装置・液化装置システムに組み込み可能なコンプレッサー、水素燃焼機器（バーナー）、バルブ、ポンプ・液面センサー等 ※水素の液化装置、精製装置、回収システム、その他の極低温ガス管理ソリューションを必要とする産業界のパートナー、研究機関、クリーンエネルギー企業との商談にも興味あり
商談言語	英語	

【水素・燃料電池分野】バイヤー招へい商談会2026

海外企業（招へい候補企業）プロフィール⑤

企業名（HP）	ECOLOG EOS B.V. (https://www.ecolog.earth/)	
所在国・地域・都市	the Netherlands, Amsterdam	
事業概要	ギリシャの海運大手Ceres Shipping傘下で液化水素および液化CO₂の輸送・物流インフラに関するソリューションを提供するEcoLog Ltd.（本社ギリシャ）のオランダ現地法人。海上輸送およびターミナル事業を通じて、グローバル規模の新たなエネルギーサプライチェーンの構築を推進し、持続可能でコスト競争力の高いエネルギーシステムの実現を目指す。液体水素の輸入と液化CO₂の輸出に対応する複合インフラ施設の開発を進めるとともに、液体水素輸送船および液化CO₂輸送船の開発にも取り組んでいる。現在、オランダ・アムステルダム港で欧州各地への水素供給を目指し液化水素ターミナルの開発を進めており、2030年末の運転開始を予定している。総取扱能力は第1フェーズで年間20万トン、第2フェーズでは年間60万トンまで拡張可能な計画。2025年の日本企業（荏原製作所、神戸製鋼所、福井製作所、TBグローバルテクノロジーズ）との戦略的コンソーシアムの結成に続き、2026年にはオランダ国王同席の下、川崎重工業と欧州における商用液化水素サプライチェーン構築に向けた戦略的提携に関する覚書を締結。	
設立年／年間売上高／従業員数	2022年／0※／10名 ※現在、アムステルダム港のターミナル開発段階のため	
海外／日本との取引経験の有無	有り／無し（日本企業との連携協定あり）	
希望商材・関心のある分野	■ 製造 ■ 輸送 ■ 貯蔵 ■ 利用	【調達】 ・ 液体および気体水素の輸送・貯蔵・利用における部品・機器等 【協業】 ・ アジア・欧州市場での事業拡大のための協業連携 ※水素オフテイカーとの商談にも興味あり
商談言語	英語	